

北海道教区報

第549号

発行所

天理教北海道教務支庁

札幌市中央区南8条西11丁目

電話011(561)-1148

FAX011(561)-1190

E-mail:kyokur-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社



【立教百八十一年 基礎講座 北海道会場開催日程】

7月7日(土) 教務支庁会場
9月16日(日) 網走会場

10月7日(日) 天龍支部会場
11月11日(日) 教務支庁会場

開催時刻はいずれも13:30から

…追加会場については随時発表していきます…

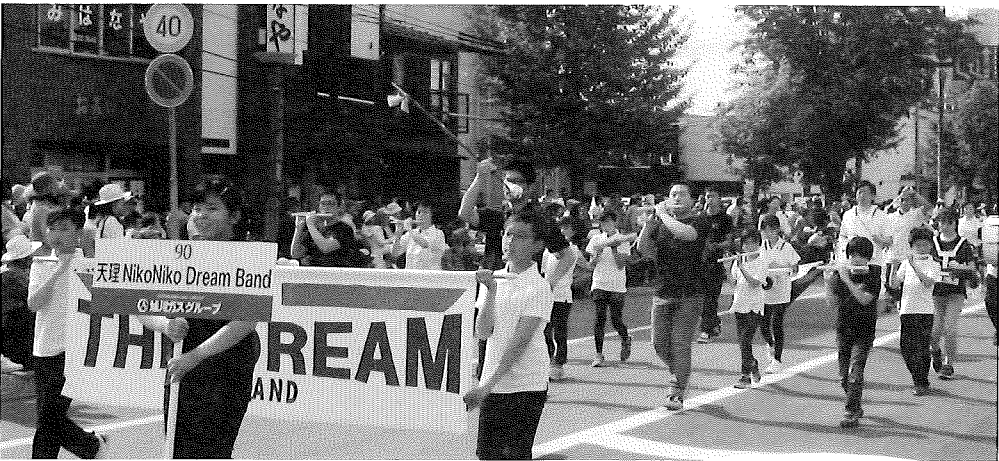
第27回目の今年は、大通りで最も繁華な7丁目広場のテントに事務局をかまえ、『親孝行、夫婦仲良く、たすけあい』という天理教青年会のスローガンの看板を掲げて、会場内外のゴミ拾いと、インフォメーションセンターで外国人に様々な案内をしたり、お世話取りをするというひのきしんであります。よさこいの委員会から『天理教』という100個のプレートを作ってもらい、それを胸に付けて6月9、10日の2日間で延べ160名(子供を含む)が参加下さいました。今年もひのきしんのメインは学生会で、約60名が活躍してくれ、子供連れなどの一般の方も延べ60名。北海道の初夏を彩る最大のイベントとなった『よさこいソーラン祭り』を統一ジャンパーを着て、陰で大きく支えました。ひのきしんの参加者をはじめ、ご協力頂きました各方面の方々には、お力添えを頂き、誠にありがとうございます。 (担当、庄田道則)

旭川音楽大行進でパレード

初夏を思わせる24度の気温。爽やかな風が吹く旭川で、98団体が参加する道内最大の音楽パレードに、天龍支部、雨龍大教会、高台分教会、旭川支部、夕張大教会の鼓笛隊が合同で『天理ニコニコドリムバンド』を組んで出演。少年会員22名と育成会員19名が、澄んだファイフの音色を響かせて行進し1.4kmの沿道14万8千人の観衆から「可愛い」「頑張ってる」と声援を頂いて、力強く『大好きなおちばへ』の曲を演奏した。

ドラムメジャーをつとめた高台分教会の北森吉朗さんは「小さな子供さんがたくさん参加してくれて、暑い中、しんどく、きつい思いでしたが、この

大行進で成長でき、ニコニコ笑顔が何よりのをいげけになったと思います」と話した。



北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

札幌矯正管区ブロック懇談会並びに 第54回札幌矯正管区地方大会



去る5月25日、天理教教誨師連盟の井上廣委員長、河合義雄副委員長をお迎えし、札幌矯正管区ブロック懇談会をお召しに開催させて頂きました。

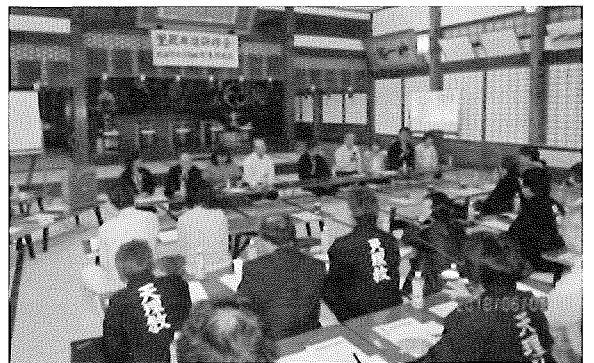
当日は、13名のうち10名が参加をしてくださいされ、教誨師として日頃感じていることなど話し合い、またその後の親睦を兼ねた食事でも親しく語り合いができました。また、新任の教誨師に対してフォローしていくこと

や現在、天理教教誨師のいない施設に委嘱されるよう働きかけを行っていききたいと思いましたが。

また、6月7日から8日にかけて第54回札幌矯正管区地方大会が千歳市で開催され、10名が参加をしました。その中で、田垣広道氏と内田誠司氏が札幌矯正管区長並びに札幌矯正管区教誨師連盟委員長の表彰をされました。(報告者 高橋太志)

函館で里親研修会

去る6月9日、函館支部の北開分教会を会場に、第24回里親



推進研修会が開かれた。道南地域の里親登録が進み、教祖のひ

ながたに沿ったお道の子育てについて、広く理解される契機となった。参加者・37名。

現在、日本各地で子育てに関する事件、問題が山積し、児童相談所に焦点が当たっている。今回の研修では、函館児童相談所・主査の方が里親制度について話され、次いで里親夫婦対談として、里親としての思い出や良さと辛さを。そして、教祖のひながたの有難さを再確認でき、教えに沿った養育法のTF Aが伝えられた。また、グループ討論をして、充実した時間となった。

婦人会ブロック別母親講座

《Cブロック・空知会場》 発達障害に向き合って



5月20日、道北の7支部Cブロックで、今年は空知支部の新十津川分教会を会場に、大阪より発達障害の子供と親を支える

『ハートママの会』の代表をつとめる、阪口由美子先生をお迎えしました。先生は約1時間40分にわたり、発達障害という見えない障害の理解について、家族と向き合う時に大切な事、教祖の『なまけ者の作男』の話や、元の理と合わせての考え方を教え下さいました。午後には、質疑応答に適切にお答え下さり、学ぶことの大切さをお話し下さって、大変有意義な時間となりました。

《Dブロック・十勝会場》 運命を変える

託児32名なども、婦人会、会長さん方、青年会の協力を頂いて、多くの若いお母さん達にもゆっくりお話を聞いて頂きました。参加者は14名内子供32名。

5月31日、Dブロックの十勝では、幕別町百年記念ホールに、時報特別号のエッセーで保育園園長の立場、見方で信仰の有難さを現わしてこられた、大典分教会長夫人の山中麻恵先生をお迎えして、母親講座を開き

ました。先生は、時代が変わり、生活様式が変わっても、日々に教祖のひながたを求め、近づく努力をしていくと、子供達と親の姿を通して、運命が変わっていくヒントをお話下さいました。子育て中の若いお母さんが多く参加して下さい、1時間のお話が短く感じられたというものでした。参加者は118名(内、その他17名)

支庁を会場に、美唄分教会長夫人・廣岡やよい先生を講師にお迎えし開催した。講話では、教会の生活の中で、先生ご自身のお子さんや長年教会でお世話されている、心の病気を抱える住込みさん達との関わりの中で日々起こって、苦しんだりしながらも、いつも教祖のひながたを心に置いて、彼らを見守り、導かれていらっしゃる先生のお姿に、参加者は勇気と感動を頂きました。

《Bブロック・教務支庁会場》 ひながたを心において

5月31日、Bブロックは教務

参加者は174名

▼婦人会 Miss'sくら会開催

去る6月2日から3日にかけて1泊2日で、教務支庁を会場に第2回Miss'sくら会が催され、7名が参加し、お道の仲間の輪が広がって、みんながキラキラする活動となった。

教区婦人会では、女子青年が25歳までなので、その後も適切にすることなく信仰を深めていけるようにと「Miss'sくら会」をたちあげて、丹精していきこうと、この度第2回が開かれた。一日目は、おつとめ着付け



講習の後、夕食は焼肉をしてそれから温泉へ。二日目は、女唄り物の調弦を講習して頂き、グループワーク、また、教区主任先生の親孝行のお話もありました。

女子青年を終えても、年齢的に女性らしさが溢れ、人間の幅も出てくる時なので、なんでも意欲的で、育つ努力もしている、楽しい時間をすごせるので、次回には友人を誘って参加したい、有意義な時間を過ごせて楽しかった、との意見が多かった。

II 婦人会からの お知らせII

◎委員長講習会

☆婦人会長様お入り込み

日時 8月31日

会場 教務支庁

◎母親講座Eブロック

日時 8月19日10時より

会場 北養分教会

講師 中村多鶴子先生

(教区婦人会常任委員)

◎母親講座Aブロック

日時 8月29日13時より

会場 北斗市総合文化

センターかなでーる

講師 廣岡やよい先生

(美唄分教会長夫人)

支部の動き

▼紋別支部総会



紋別支部では、5月9日紋別分教会を会場に総会を行い、役員や各組より13交替でおつとめをつとめた。

支部長の挨拶、教区長の祝辞の後、直会ではお赤飯と汁物を美味しく頂き、大ビンゴ大会をして盛り上がりました。参加者54名。

▼釧根支部総会

5月20日快晴の釧路は、西幣舞分教会を会場に、支部としての総会と婦人会、青年会の合同のおつとめ総会を兼ねて一手一



つにつとめた。まず、3交替でおつとめまなびを勤めさせて頂き、第二部は記念講演として、平取分教会長であり、保護司や町のスクールカウンセラーとして活動中の、和田与志夫先生に御登壇頂き、「家族理解・若者のおたすけから見えてくるもの」と題して、若者のおたすけ経験から、結論を急がず、焦らずにじっくり相手と向き合い、寄り添っていく事が大切、とお話頂いた。この総会で、釧根支部の役員はじめ、教会長から青年まで、育成部を中心として、四会の連携が取れた人材育成活動を進めて

いき、活発な支部活動を通じて、立ち働くようばくの裾野を広げていきたい、という事です。

▼札幌東支部・支部婦人会 合同総会

去6月3日、札幌東支部(堤文雄支部長・奥村とう子主任)



では北養分教会を会場に、本年の支部婦人会との合同総会を開催。87名が参加して今年も陽気ぐらしを实践しようと誓い合った。

講話は、荒木志朗・恵庭分教会長(札幌北西支部・芦津)より身上を通しての体験談で、多くの人の胸を打った内容であった。直会では縁日の屋台風にして支部内の親睦を深めて盛り上がった。



▼余市支部成人講座

天理教学を学ぶ会

第2回 公開講座 テーマ「元の理」

「学問に無い、古い九億九万六千年のこと、世界へ教えたい。」と仰せられてから、およそ150年近くが経ち、教育も進んだ現代において、私達自身が「元の理」について理解を深め、心から得心してそれを伝えていくことが大切。この機会に、一緒に学ばせて頂きましょう。

講師 天理大学教授 荒川善廣先生

日時 8月12日(日) 午後1時～4時
 場所 北海道教務支庁大会議室
 内容 講演・質疑応答
 受講費 1000円 主催「天理教学を学ぶ会」
 代表 荒川善孝
 申込み 7月31日までに、ファックスまたはハガキにて下記宛、電話でも受付いたします。
 ・担当者 新井田建治 TEL/FAX 0135-22-3928
 〒046-0003 余市町黒川13-29 積丹分教会

5月20日、余市支部の積丹分教会を会場に、支部独自の「よふほく成人講座」が開催された。「教祖のひながたを身近に」と題する講座に、参加者56名が熱心に受講した。
 講師は、松谷武一先生(南大教会役員・南華分教会前会長)で、憩の家病院事情部元講師であり、題名と同じ著作もありました。
 先生は「教祖のひながたは、元の理を学ばせていただく事が何より大事で、元初まりの話は、世界中の人間を必ず助けてくださるお話しです。心澄ませて銘々の心に治めると、人たすけのお

新会長さん紹介

(平成30年5月26日お運び)

札幌東支部

北弘分教会(夕張)

奉告祭 6月9日



千葉真理氏 (33歳)

十勝支部

中勝分教会(名古屋)

奉告祭 8月7日



出雲桂子氏 (76歳)

力を頂く事ができます。「基本教理の勉強は、非常に大切で、神様や教祖のお働きを信じれば、必ず教祖が働いてくださる。また、一から勉強をし直したら、皆でしっかり心を揃えてつとめたら、世界中に広まると思う」と、話を締めた。

先生は88歳でありましたが、張りのあるお声が印象的でした。

(支部社友・中田)

1円募金から寄付

福祉厚生部

今年、富良野支部と紋別支部の特別養護老人ホームへ。富良野では、「二味園」(南富良野町)へ車いす2台分を寄贈。6月19日には贈呈式が行われ、支部長、支部担当者が出席した。紋別では、「緑の園」「丸瀬布

ヒルトップハイツ」(いずれも遠軽町)へ寄付。2施設へ贈られて模様様が道新オホーツク版に紹介されました。皆様の実感がにをいがけになっています。

計報

- ・新井田リツ様 5月29日出直 (91歳)
- ・積丹分教会前会長夫人 (余市支部)
- ・湯浅 静子様 5月9日出直 (89歳)
- ・豊穠分教会会長 (旭川支部)

北海道教務支庁日誌抄

(5月19日～6月18日)

- 5月19日 青年会支部委員長会議
- 20日 おうた練習
- 26日 本部月次祭選擇式
- 27日 しらゆき会例会
- 31日 母親講座Bプロック
- 6月1日 たすけ推進会議
- 2日 支部長会議
- 9日 YOSAKOIソーラン祭り ひのきしん
- 16日 道の教職員の集い総会 ままつぶの集い
- 18日 教区報編集会議 おうた練習

- ◎法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。
- ◎手話・点字講習会 毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)
- ◎毎月26日に本部月次祭選擇式をおこなっております。
- ◎青年会緑化ひのきしん案内 7月21日9時30分結隊式 同日17時 解体式

※詳しくは教区青年会まで

【お詫び】教区報先月(548号)の新会長さん紹介欄で唐田明美さん教会名に誤りがありお詫びして訂正させていただきました。
 ×宮園分教会→○宮園町分教会